

Industrial Monitoring System

工場・機械・設備などを遠隔で監視・制御。
リアルタイムで計測・最適化するIoTソリューション

Point

1



コストパフォーマンス

製品導入・運用時の
コストパフォーマンスが
圧倒的に高い

Point

2



素早いスタート

標準的なアプリケーションを
最初から装備。導入から
運用までが素早い

Point

3



スケールアップ

規模の大きさに合わせて、
スケールアップが
簡単に出来る

IMSの主な機能



データ知識・蓄積



データ管理・監視



デバイス遠隔制御



豊富な接続可能
デバイス



データ・システム
連携



データの見える化

ユーザPC・タブレット

IMS クラウド(日本国内)

工場・施設



リアルタイムモニタリング



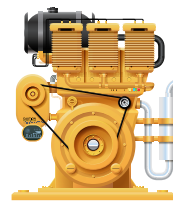
リモート制御

Eメールでアラート通知

各種センサー

センサーは
市販品で
OK

各種センサー



IMSの導入メリット

設備管理もIoTなら効果的

01. 予防保全

予防の程度を高めるほど過剰な部品交換を招き、保全費用がかさんでしまう

IoTを
導入後

効果的で無駄の少ない
予防保全が可能

- メンテナンスの時期を把握
- 設備点検・データ収集や記録にかかる時間の削減
- 産業機械・機械部品の予防保全

02. 事後保全

事後保全による機械の停止時間が長時間がかかり、生産性の低下から生じる損失が伴います

IoTを
導入後

計画的な事後保全で
損失を最小限に

- データの蓄積と今後のAI化が進む中で、最小限の計画的な保全を行うことで損失を最小限に抑える

03. 自主保全

各作業者の能力に依存してしまう日常点検・給油・部品交換・修理・異常の早期発見・精度チェック...

IoTを
導入後

「問題点・改善点」の見える化!

- データの蓄積で設備の問題点を予想でき、情報の共有により他の管理者も確認することができる。

IMSの導入メリット

生産効率をIMSで改善!

IMS導入前

仮説や経験、設置経過年数を
基に予防または事後保全

1. 製造部門の関心が低い
2. 故障解析の取り組みが弱い
3. 保全システムとその運用が弱い
4. 予防保全に対する取り組みが弱い



全てを行うためには、労力+相当の期間がかかる

IMS導入後

データを基にした
計画的で無駄を最小減に
した予防保全が可能に!



クラウド化された標準的な
アプリケーションで、短期間の運用開始

- 標準で機能や時間帯ごとの送信先も指定できる
- 一般的な市販のセンサー類を接続してモニタリングできる
- 3系統の接点入力で離れた場所への異常の連絡や緊急停止など様々な対応が可能
- 故障前後のデータも簡単にCSVデータで取り込める

警告発生ログも後から確認できるので、異常値
の履歴を確認することも可能

- 例えば、プラントモータの不具合を事前に予測したい場合、ベアリングの駆動時間と振動変化・温度変化・電流変化を数値化して蓄積。不具合の予測・予防保全につなげることが可能に。

※本書に記載の内容は、改良の為予告なく変更される場合があります



株式会社 MTL

〒457-0844 愛知県名古屋市中区堤町2丁目45番地

TEL. 052-694-2355

URL <https://www.mtl.jp>

●代理店名

●連絡先